

平成28年5月27日
国土交通省道路局

スマートインターチェンジの新規事業化、準備段階調査の箇所を決定 ～高速道路の有効利用や地域経済の活性化に向けて～

国土交通省は、都市内交通状況の改善等の効果が期待されるスマートインターチェンジについて、本日付で7箇所を新規事業化しました。また、新たに5箇所を準備段階調査を実施します。

○スマートインターチェンジの整備により期待される効果

- ・高速道路から中心市街地へのアクセス向上など、都市内交通状況の改善
- ・周辺の産業拠点から高速道路へのアクセス向上など、産業振興・物流の効率化 等

○準備段階調査について

スマートインターチェンジの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、国が調査を実施する「準備段階調査」を実施します。

これにより、スマートインターチェンジの地方での計画的かつ効率的な準備・検討の推進が図られることが期待されます。

- 別添①: スマートインターチェンジ新規事業化箇所一覧表
- 別添②: スマートインターチェンジ新規事業化箇所図
- 別添③: スマートインターチェンジ準備段階調査箇所一覧表
- 別添④: スマートインターチェンジ準備段階調査箇所図
- 別添⑤: スマートインターチェンジの検討・整備について
- 別添⑥: スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

[お問い合わせ先]

国土交通省 道路局 高速道路課 企画専門官 柴田 芳雄

[代表] TEL 03-5253-8111 (内線38362)

[直通] TEL 03-5253-8500、FAX 03-5253-1619

スマートインターチェンジ^{※1}新規事業化箇所 一覧表

別添①

(単位:百万円)

スマートインターチェンジの名称(仮称) ^{※2}	連結位置	路線名	H28事業費 ^{※3}	接続形式
つがししかた 都賀西方	栃木県栃木市	東北縦貫自動車道弘前線(栃木IC～鹿沼IC間)	16	SA・PA接続型
やいたきた 矢板北	栃木県矢板市	東北縦貫自動車道弘前線(矢板IC～西那須野塩原IC間)	14	SA・PA接続型
かみいち 上市	富山県中新川郡上市町	北陸自動車道(立山IC～滑川IC間)	16	本線直結型
ふじよしだみなみ 富士吉田南	山梨県富士吉田市	一般国道138号(東富士五湖道路)(富士吉田IC～山中湖IC間)	16	本線直結型
ぎこうじ 座光寺	長野県飯田市	中央自動車道西宮線(松川IC～飯田IC間)	16	SA・PA接続型
あしがら 足柄	静岡県駿東郡小山町	第一東海自動車道(大井松田IC～御殿場IC間)	14	SA・PA接続型
こまかど 駒門	静岡県御殿場市	第一東海自動車道(御殿場IC～裾野IC間)	16	SA・PA接続型

※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

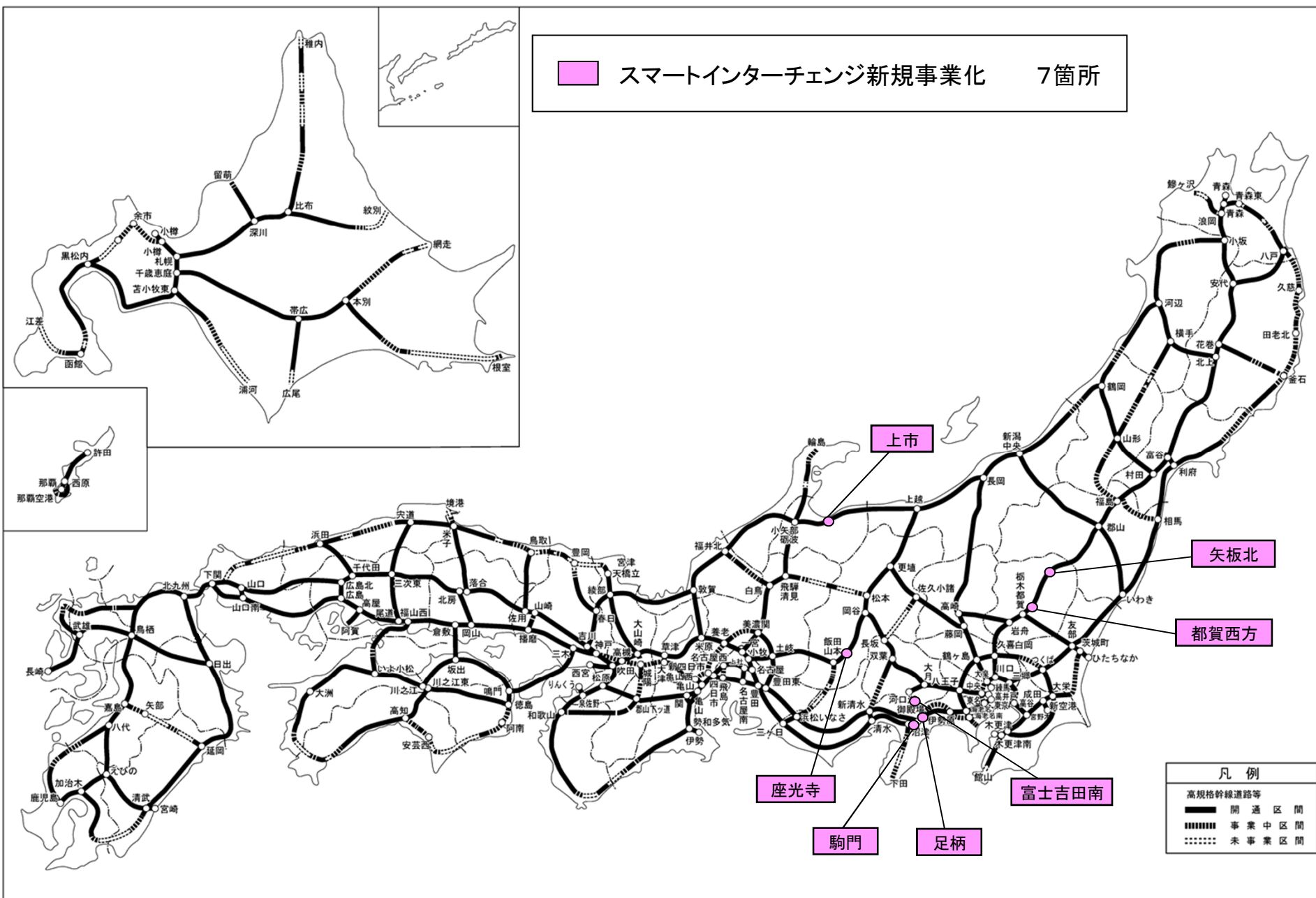
※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※3 事業費は高速道路機構への補助対象分であり、地方が整備する高速道路の区域から既設の一般道路までの道路などは含みません。

スマートインターチェンジ新規事業化箇所図

別添②

スマートインターチェンジ新規事業化 7箇所



スマートインターチェンジ^{※1}新規準備段階調査箇所 一覧表

別添③

スマートインターチェンジの名称(仮称) ^{※2}	検討位置	路線名 ^{※3}
すごう 菅生	宮城県柴田郡村田町	東北縦貫自動車道弘前線(村田IC～仙台南IC間)
つくば	茨城県つくば市	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(常総IC～つくば中央IC間)
かんら 甘楽PA	群馬県甘楽郡甘楽町	関越自動車道上越線(吉井IC～富岡IC間)
いずるはら 出流原PA	栃木県佐野市	北関東自動車道(足利IC～佐野田沼IC間)
とうおん 東温	愛媛県東温市	四国縦貫自動車道(川内IC～松山IC間)

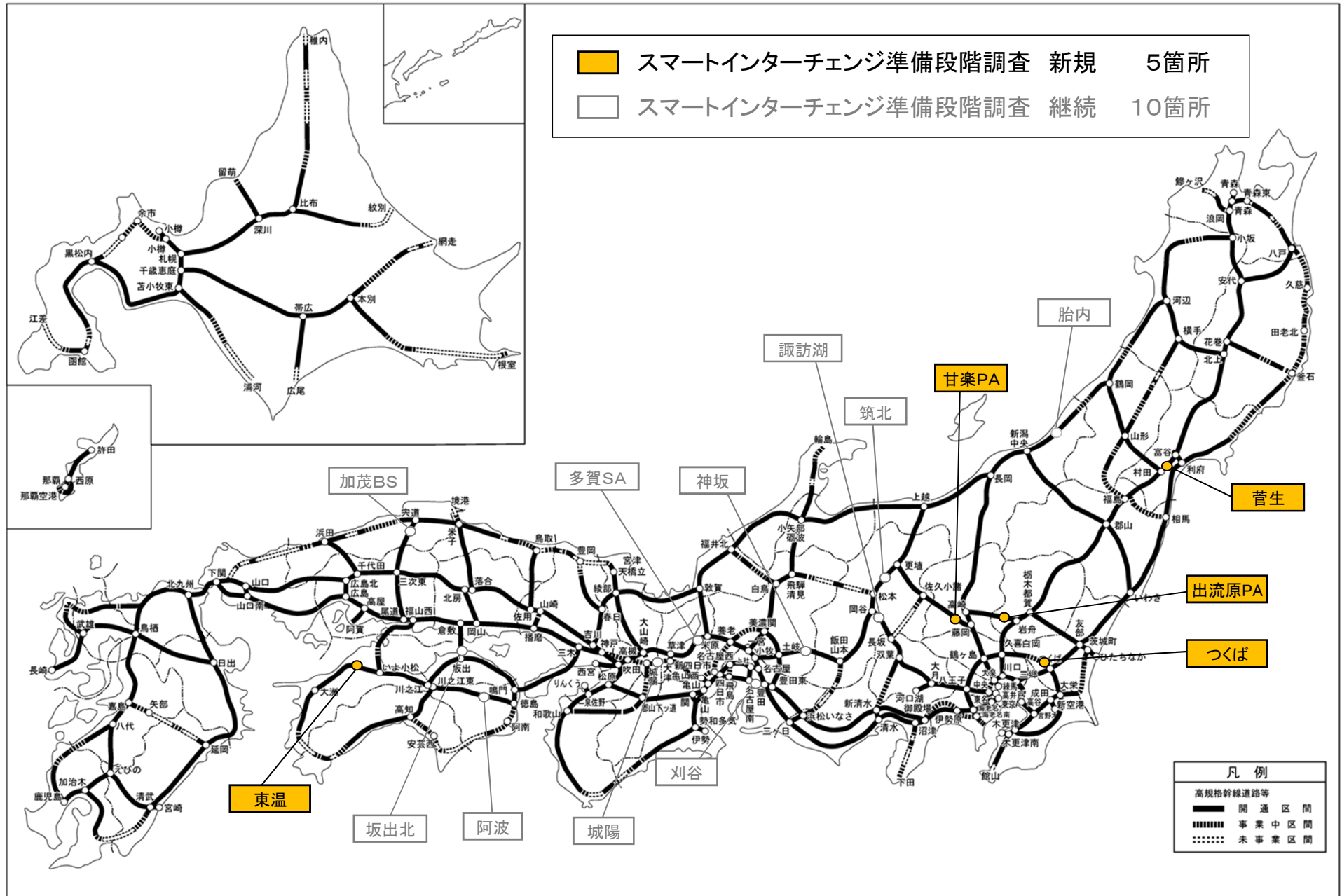
※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※3 未開通のICは仮称です。

スマートインターチェンジ準備段階調査箇所図

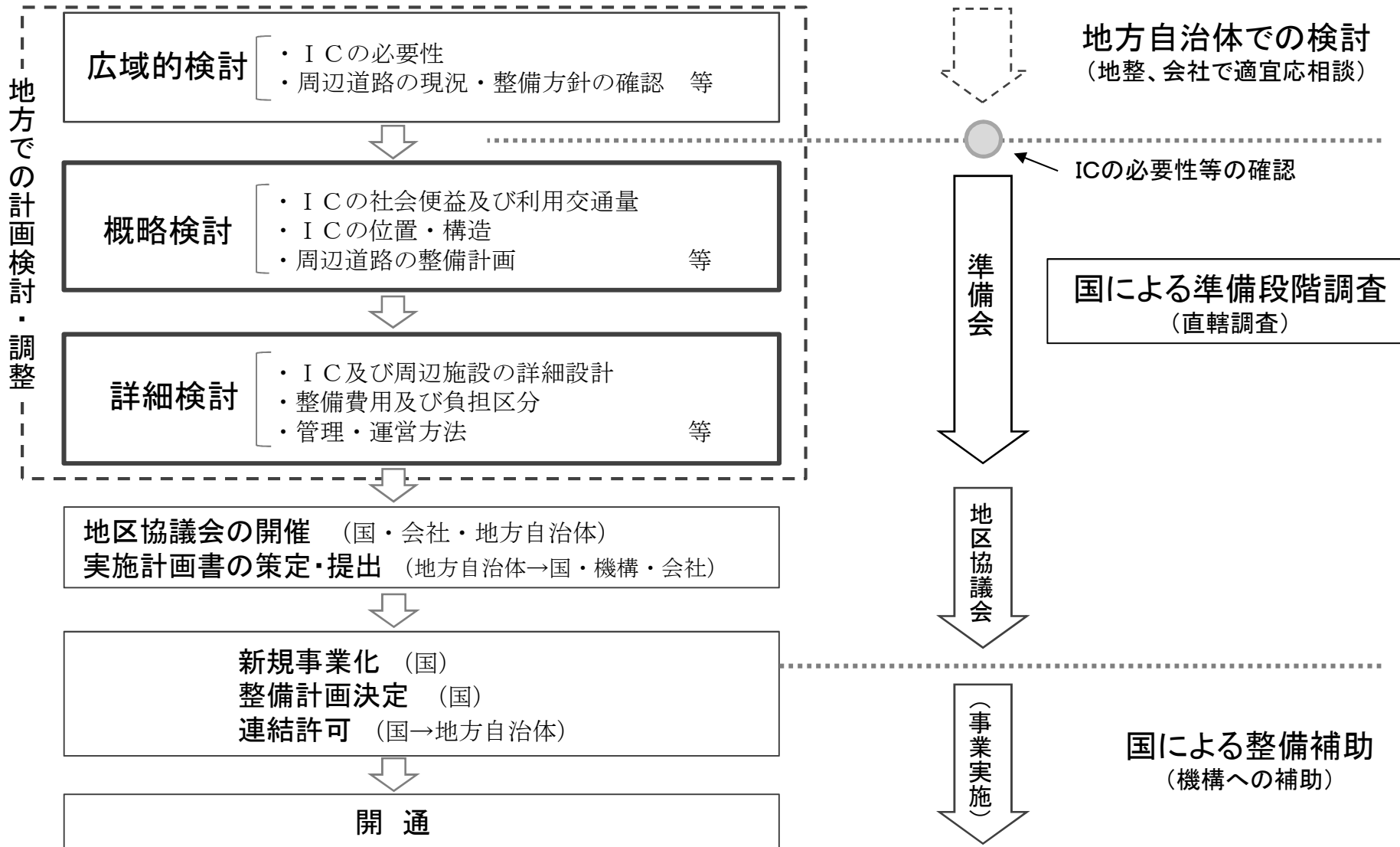
別添④



スマートインターチェンジの検討・整備について

別添⑤

- スマートICの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査(直轄調査)を実施(準備段階調査)。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。



■東北自動車道 都賀西方スマートIC(仮称)

<概要>

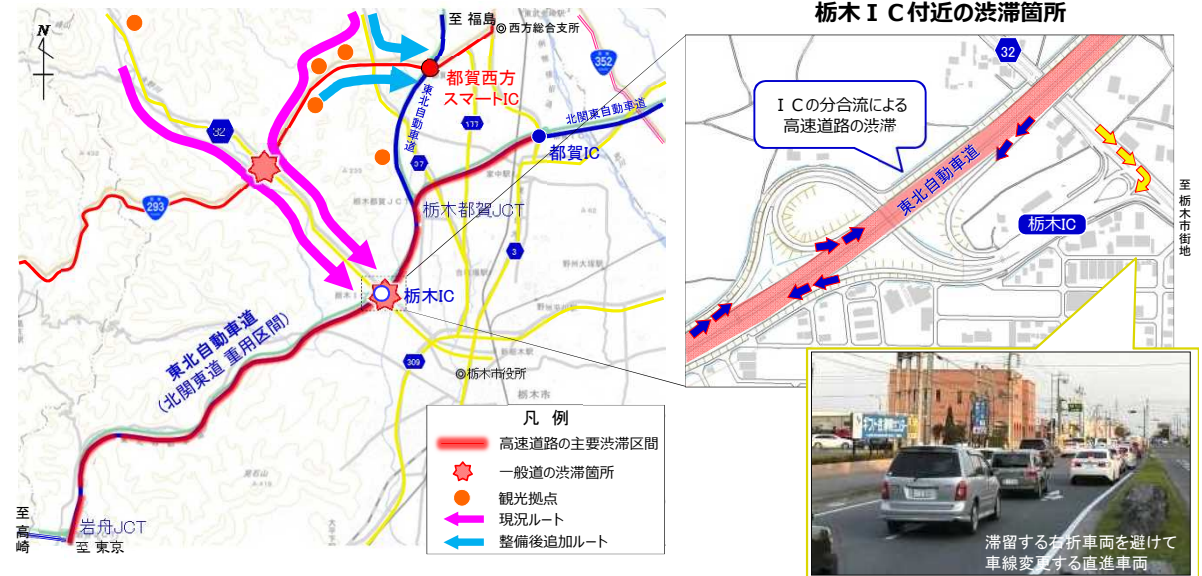
- 路線名 : 東北縦貫自動車道弘前線
とちぎ かぬま
 (栃木IC～鹿沼IC間)
とちぎ
 設置場所 : 栃木県栃木市
 接続形式 : SA・PA接続型
 形式 : 全方向 (4/4)
 運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 交通分散による混雑緩和

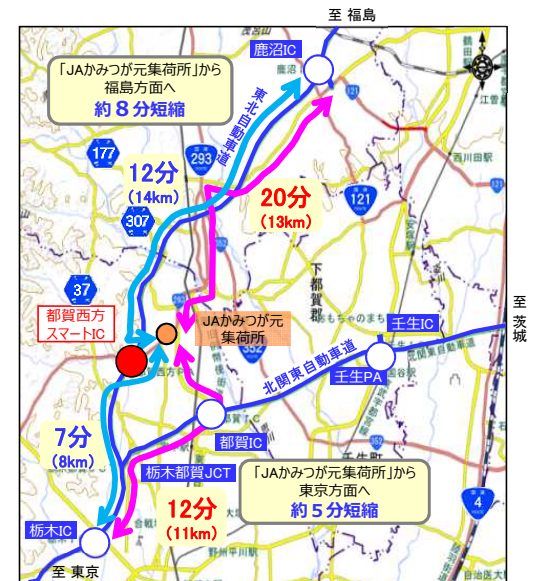
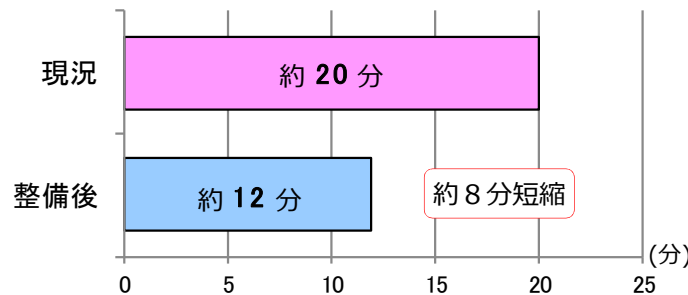
- 都賀西方スマートICの整備により、交通の分散が図られ、主要渋滞箇所となっている栃木IC付近の高速道路や一般道の混雑緩和につながる。



整備効果 物流効率化・農業振興

- 都賀西方スマートICの整備により、「JAかみつが元集荷所」から高速道路へのアクセス性が向上し、農産物の輸送効率化など、農業振興に寄与。

JAかみつが元集荷所から福島方面へのアクセス時間



■東北自動車道 ^{やいたきた} 矢板北スマートIC(仮称)

<概要>

- 路線名 : 東北縦貫自動車道弘前線
やいた にしなすのしおぼら
 (矢板IC～西那須野塩原IC間)
- 設置場所 : 栃木県矢板市
- 接続形式 : SA・PA接続型
- 形式 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>

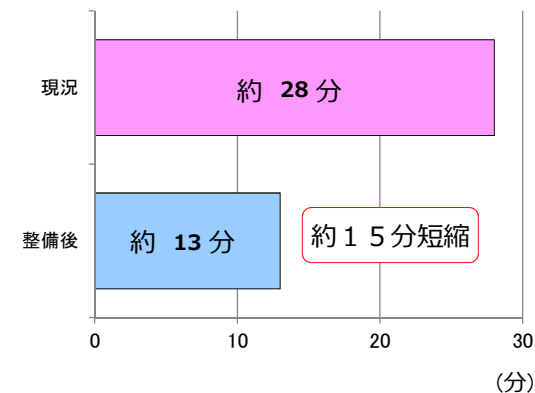


整備効果 矢板市中心市街地へのアクセス向上

- 矢板北スマートICの整備により、一般道の渋滞や事故危険箇所を回避し、最短距離で高速道路から市内中心部へアクセスが可能となる。



県北・東北方面(西那須野塩原IC)からの所要時間



整備効果 観光振興

- 矢板北スマートIC整備により、市北部に位置する景勝地や観光拠点へのアクセス性向上に寄与。

矢板市の主な観光拠点・景勝地



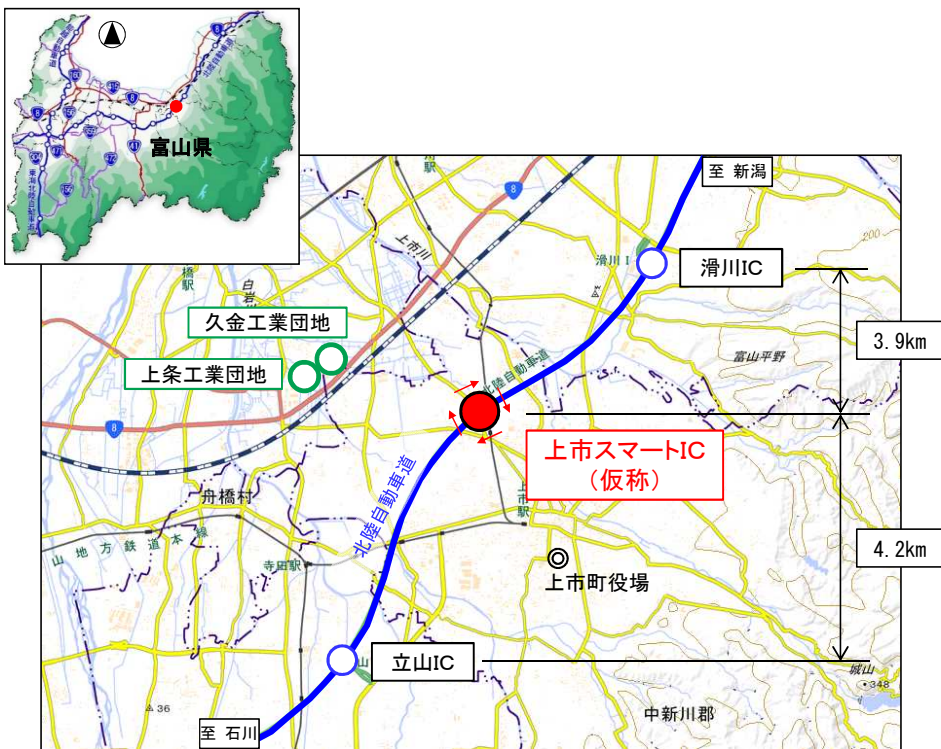
矢板市の主な観光拠点等への入込客数(平成26年) 約44万人/年

北陸自動車道 上市スマートIC(仮称)

<概要>

- 路線名 : 北陸自動車道
(立山IC～滑川IC間)
- 設置場所 : 富山県中新川郡上市町
- 接続形式 : 本線直結型
- 形式 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 産業活動の支援

- ・ 上市町は、世界トップクラスのシェアを誇る企業が複数存在する。
- ・ 上市スマートICの整備により、工業団地や周辺立地企業から、一般道の渋滞を回避し、高速道路へ最短距離でのアクセスが可能となり、更なる企業誘致の促進、雇用の増大など産業活動の活性化が期待される。



【企業A】
パソコン用の基盤接続端子を製造
(世界シェア90%)



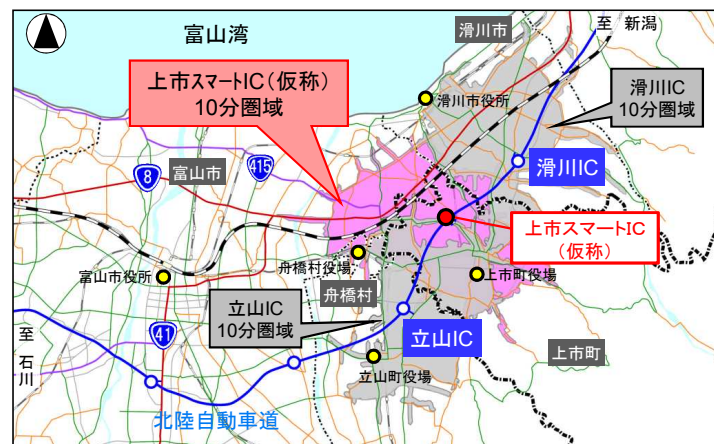
【企業B】
パソコン用の磁気テープ製造に
必要な異物除去フィルターを製造
(世界シェア70%)



整備効果 高速道路へのアクセス向上

- ・ 上市スマートICの整備により、上市町等から北陸自動車道へのアクセス性が向上し、新たな通勤圏や行動圏の拡大などが期待される。

【効果例】 上市SIC周辺における新たなIC10分圏域人口の増加(立山IC～滑川IC間)
整備前:約5万人 ⇒ 整備後:約6万人(約1万人増加)



※データ：H22道路交通センサス(ピーク時旅行速度)、H22国勢調査

ふじよしだみなみ

■東富士五湖道路 富士吉田南スマートIC(仮称)

<概要>

路線名 : 一般国道138号 ^{ひがしふじごこ}東富士五湖道路
(^{ふじよしだ やまなかこ}富士吉田IC～山中湖IC間)

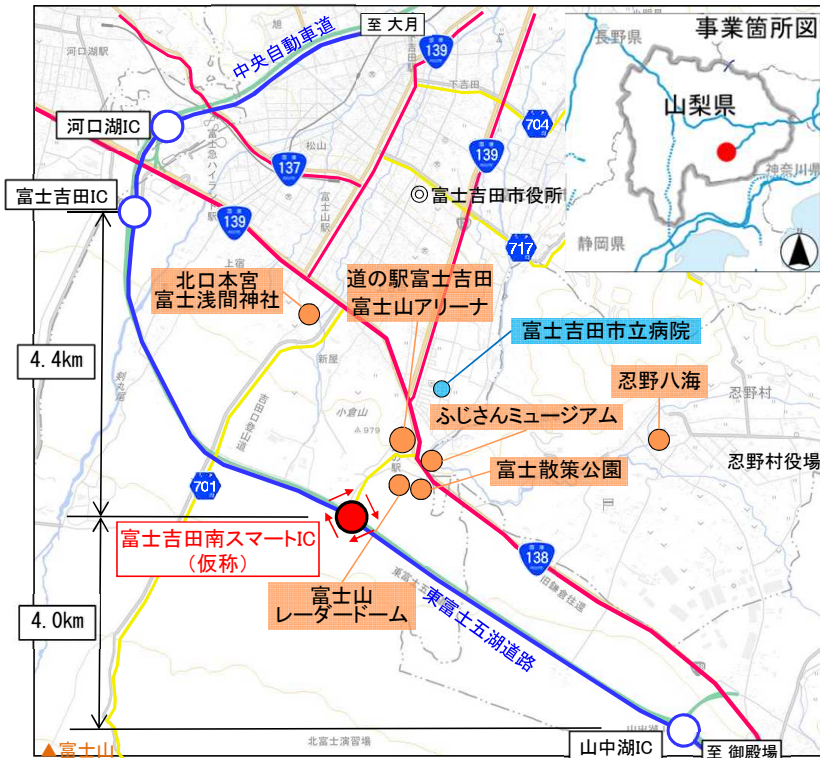
設置場所 : 山梨県富士吉田市

接続形式 : 本線直結型

形式 : 全方向 (4/4)

運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 混雑緩和・観光振興

- 富士吉田南スマートICの整備により、主要観光拠点へ集中する交通を分散し、周辺道路の混雑緩和を図るとともに、アクセス性の向上により観光振興に寄与。

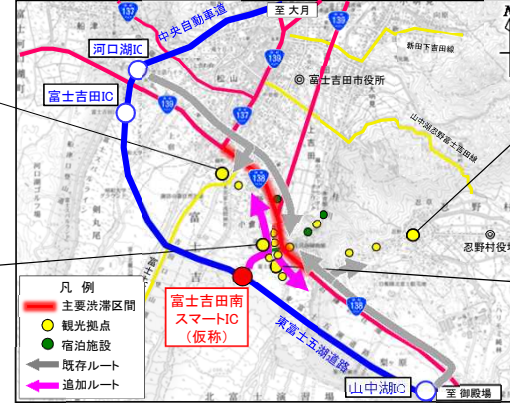
富士吉田南スマートIC周辺の主要観光拠点とH27年観光入込客数



北口本宮富士浅間神社
約143万人/年



道の駅富士吉田
約153万人/年



忍野八海 約100万人/年

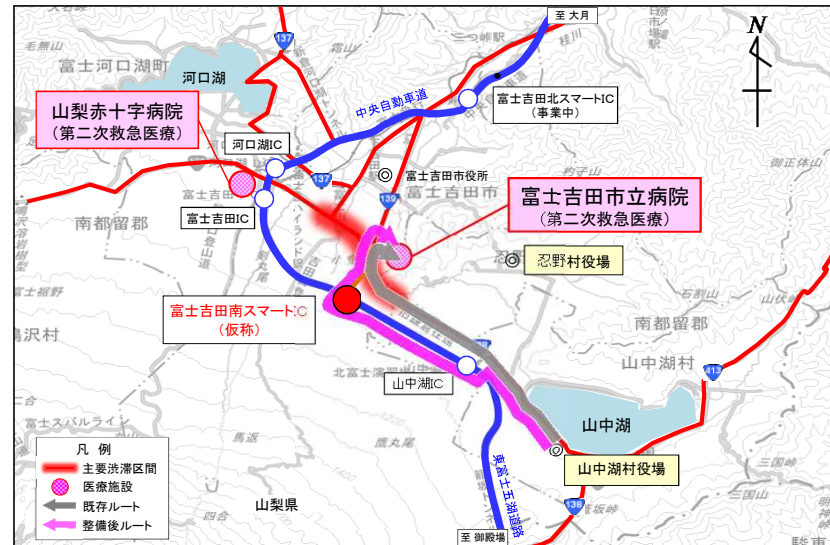


富士散策公園 約9万人/年

※H27年観光入込客数: 富士吉田市調査結果

整備効果 地域医療サービスの向上

- 富士吉田南スマートICの整備により、山中湖村等から地域医療を担う富士吉田市立病院へ一般道の主要渋滞区間を回避したアクセスが可能となり、地域医療サービスの向上に寄与。



■中央自動車道 座光寺スマートIC(仮称)

<概要>

- 路線名 : 中央自動車道西宮線
まつかわ いいだ
 (松川IC～飯田IC間)
- 設置場所 : いいだ
 長野県飯田市
- 接続形式 : SA・PA接続型
- 利用方法 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

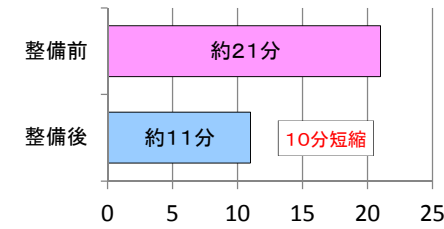
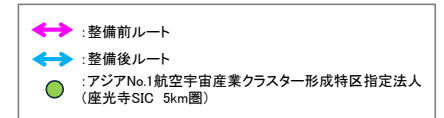
<位置図>



整備効果 物流の効率化

- 座光寺スマートICの整備により、一般道の渋滞を回避して高速道路へアクセスが可能となり、市が推進する航空宇宙産業等において物流の効率化が図られる。

【効果例】 周辺企業から名古屋方面(飯田IC)へのアクセス性向上
 整備前:21分 → 整備後:11分 (10分短縮)

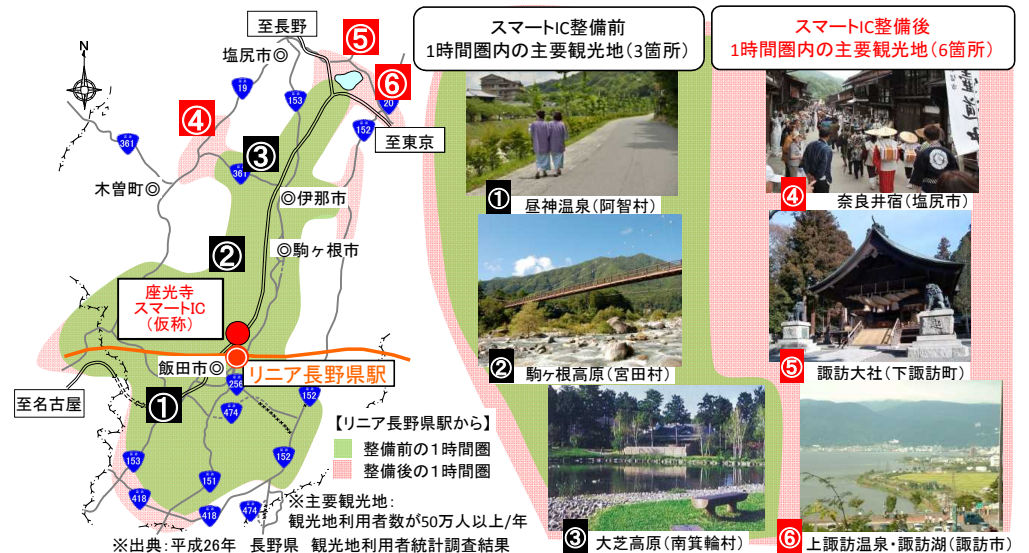


※民間プロブデータ(平成27年9月)より算出 (分)

整備効果 リニア中央新幹線との結節による観光振興

- リニア長野県駅から高速道路ICへのアクセス向上により1時間圏域の主要観光地が増加し、リニア中央新幹線と一体となって観光振興に寄与。

【効果例】1時間圏域の主要観光地が3箇所(約189万人/年)→6箇所(約743万人/年)※に増加



■東名高速道路 あしがら 足柄スマートIC(仮称)

<概要>

路線名 : 第一東海自動車道
おおしまつだ ごてんば
 (大井松田IC~御殿場IC間)

設置場所 : 静岡県駿東郡小山町
すんとう おやま

接続形式 : SA・PA接続型

形式 : 全方向(4/4)

運用形態 : 全車種 24時間

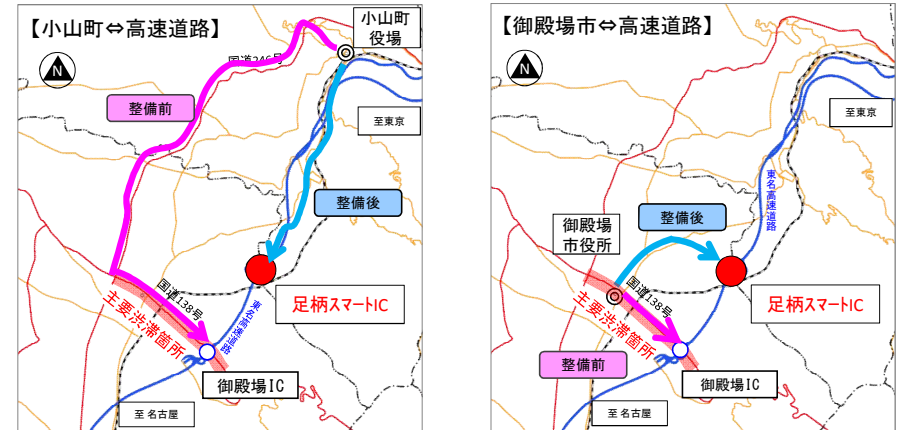
<位置図>



整備効果 中心市街地へのアクセス向上

- 足柄スマートICの整備により、一般道の渋滞箇所を回避して小山町・御殿場市街地などから高速道路にアクセスが可能となる。

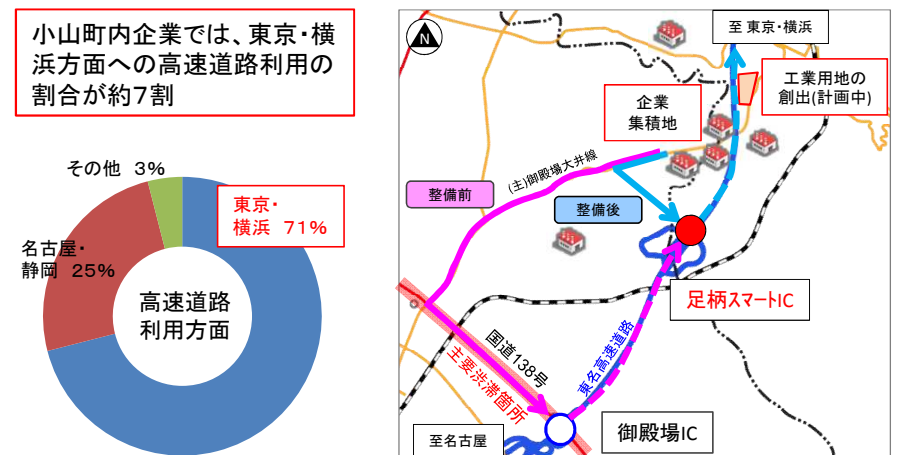
【効果例】 小山町から高速道路ICへのアクセス時間の短縮
 ○整備前:約19分 → 整備後:約9分(10分短縮)



整備効果 物流の効率化と企業誘致の促進

- 小山町内企業の東京・横浜方面への高速アクセス性の向上により、物流の効率化と企業誘致の促進が期待される。

【効果例】 企業集積地から高速道路IC(東京・横浜方面)へのアクセス時間の短縮
 ○整備前:約15分 → 整備後:約3分(12分短縮)



■東名高速道路 駒門スマートIC(仮称)

こまかど

<概要>

- 路線名 : 第一東海自動車道
(御殿場IC～裾野IC間)
設置場所 : 静岡県御殿場市
接続形式 : SA・PA接続型
利用方向 : 全方向(4/4)
運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>

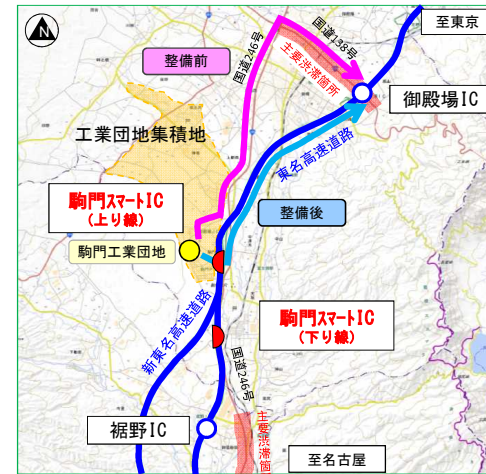


整備効果 物流の効率化・産業振興

- 駒門スマートICの整備により、工業団地集積地(事業所数91社、製造品出荷額2300億円)から高速道路へのアクセス時間が短縮し、物流の効率化や企業誘致の推進が期待される。

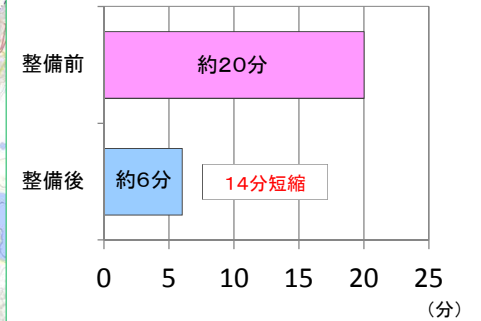
【効果例】 工業団地から高速道路ICへのアクセス時間の短縮

○東京方面 整備前:約20分 → 整備後:約6分



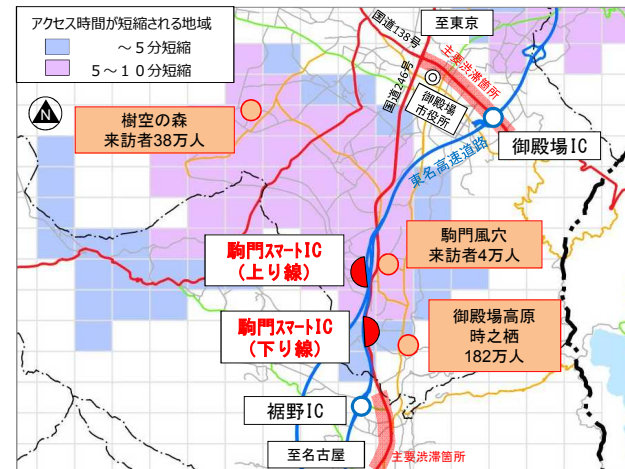
【工業団地から高速道路ICへのアクセス時間】

○東京方面



整備効果 観光振興

- 駒門スマートICの整備により、御殿場市南部に位置する観光拠点への所要時間が短縮し、観光振興が期待される。



時之栖 来訪者182万人/年



樹空の森 来訪者38万人/年